

# 特集



## 障害のある人もない人も暮らしやすい社会へ

奈良県では、障害のある人もない人もともに安心して暮らせる社会の実現を目指しています。障害のある人が夢と希望を持ち、いきいきと個性を発揮し、地域で安心して暮らし、さまざまな社会活動に参加することができるよう、県では取り組みを進めています。

県民の皆さんも、それぞれの立場でできる配慮をお願いします。



# ともに暮らす

県民や事業者の皆さんの障害に対する理解を深め、障害を理由とした差別をなくすために条例を定めました。

## 4月1日から 「奈良県障害のある人もない人も ともに暮らしやすい社会づくり条例」 が施行されます。

◆障害を理由として、合理的な理由なく、サービスの提供を拒否したり、制限したりすることは禁止されます。

例 車いすを利用していることを理由に、合理的な理由なくレストランなどへの入店を断ること

◆障害のある人が何らかの配慮を求めているのに、必要かつ合理的な配慮をしないことは禁止されます。

例 視覚障害のある人から説明を求められたのに、書類を渡すだけです

例 聴覚障害のある人から筆談による説明を求められたのに、筆談に応じないこと

障害を理由とする差別に関する  
ご相談はこちらへ

県障害福祉課  
相談専用ダイヤル(4月1日～開設)  
☎07422778088  
平日 9時～17時(年末年始を除く)



書類を渡すだけでなく、読み上げて内容を伝えましょう。

筆記用具やメモ用紙などを用意し、筆談で対応しましょう。



詳しくは

奈良県障害福祉課条例

検索

SUPPORTER

## まほろば あいサポート運動

障害を知り、ともに生きる  
～まず、知ることから  
はじめましょう～

まほろば「あいサポート運動」は、障害の内容や特性、障害のある人が困っていること、配慮の仕方やちょっとした手助けの方法などを理解し、実践していく運動です。

障害があっても、周囲の理解や配慮があれば、活躍できることがたくさんあります。

県では、まほろば「あいサポーター研修」等を通して、この運動を推進しています。



詳しくは

まほろばあいサポート

検索



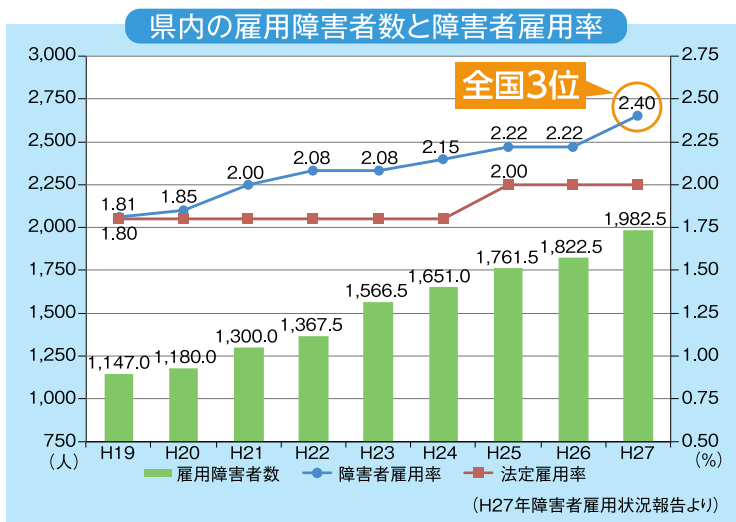
# ともに働く

## 企業で働く

県と奈良労働局が共同で運営する「障害者はたらく応援団なら」は、企業や支援機関と連携して障害のある人の就労支援に取り組んでいます。障害のある人の雇用に積極的な企業等を登録し、職場実習の受入拡大や就労定着の支援などを行っています。



さまざまな企業で働く人たち



農産加工センターで働くようす

障害のある人の多くが、仕事に就くことを通じて、社会に参加し、働く喜びや生きがいを見いだしたいと思っています。県では、障害のある人が、その適性や能力に応じて働き続けることができるよう、さまざまな支援を行っています。

## 施設で働く

県内の障害者就労施設では、障害のある人が、お菓子にパン、野菜、雑貨など、日々の暮らしを彩るさまざまな商品を作っています。また、施設が運営するレストランで働いている人もいます。心を込めて手作りの商品の販売会「はたらく障害者応援フェア」を定期的に開催しています。



施設で作られたこだわりの商品



商品のカatalogも制作しています。

ならてもの [検索](#)

県が発行した「はたらく障害者応援プレミアム商品券」も大好評でした。



はたらく障害者応援フェアのようす



パン工房で働く人たち

# ともに過ごす

県では、障害のある人もない人も、趣味や生きがいづくりを通じて地域や仲間とつながりを深めるための支援をしています。

## スポーツを楽しむ



障害者スポーツ大会



みんなのスポーツフェスティバル

みんなでプレーすることや遠征に行くことが楽しいです。  
日本代表として電動車椅子サッカーワールドカップに出場するのが夢です。

多くの障害のある人が健康づくりや生きがいづくり、また競技として、スポーツに取り組んでいます。  
県では、さまざまなイベントを通じて、障害のある人もない人もともにスポーツに親しむ機会づくりに取り組んでいます。



電動車椅子サッカー  
奈良クラブピクトリーロード  
代表 中井皓寛さん

## 芸術・文化に取り組む

絵画や音楽、舞台などさまざまなアートを通して、障害のある人の表現を知る「障害者芸術祭」や、「障害者作品展」を開催しています。  
障害のある人となない人のつながりを深める場となっています。



障害者週間(12月)に開催される障害者作品展



障害者芸術祭「鹿の劇場」



アート作品制作の様子

平成29年9月～11月に、「第32回国民文化祭・なら2017」「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」を奈良県で一体開催します。



©NARA pref.

## 障害のある人の社会参加に向けて

障害のある人が日常生活や社会生活を送る場で、手話通訳者、要約筆記者、点訳・音訳ボランティア、スポーツボランティアなど、さまざまな支援者が活躍しています。  
県では、障害のある人の社会参加をさらに進めるため、ボランティアの養成講座を実施しています。

### 知事から ひとつと

障害を理解し、障害のある人一人ひとりに寄り添うことが大事だと思います。障害のある人もない人も一緒に暮らすことが当たり前という思いを持って、誰もが暮らしやすい奈良県づくりを目指します。



問 県障害福祉課 ☎0742-27-8517 FAX 0742-22-1814